２０２２年度　事　業　計　画　書

２０２２年1月１日 から２０２２年１２月３１日まで

特定非営利活動法人フレンズ･ウィズアウト･ア･ボーダーJAPAN

１．事業実施の方針

長引くコロナ禍においても、ラオ・フレンズ小児病院（LFHC）へ来院する栄養失調やウイルス性の感染症（上気道感染症、胃腸炎等）で治療を必要とする患者は多く、適切な質の高い心のこもった医療（Compassionate care）を提供できるよう、万全の医療体制を整える。

LFHC の将来的な現地化に向け、ラオス人スタッフのリーダー育成をより強化するとともに院内外における医療教育を継続し、地域全体の医療向上を目指す。

コロナの影響を受け一時中止となっていた「発達・障がい児クリニック」を再開し、家族を含めたホリスティックなアプローチでケアを提供する。また、他団体との協同研修プログラムも再開し、LFHC の持つノウハウや技術、医療倫理に関する懸念を広め、知識や技術がルアンパバーン県内全体へ浸透していくよう取り組んでいく。政府の方針により移動規制がある場合には、活動への影響はあるものの、引き続き継続ケアが必要な患者に対して実施可能な方法で活動を継続する。

助成事業としてカンボジアの「アンコール小児病院（AHC)」と協議を行い、現事業の評価を実施し、ニーズに沿った事業への助成事業を継続して行う。

日本国内においては、少しずつ対面型のイベントを再開するとともに、オンラインを駆使しながらライブ配信やトークイベント等を開催し、団体の認知度向上に繋げる。引き続き企業との連携構築強化を図るために新たな取り組みを開拓していく。寄付キャンペーンや助成金申請を継続することで、新規支援者獲得及び安定した運営資金確保に努める。団体広報の強化のために、WEB サイト、SNS、年次報告書、パンフレット等を活用する。

２．事業の実施に関する事項

（１）特定非営利活動に係る事業　　（事業費の総費用【　106,866　】千円）

事 業 名	事 業 内 容	実施予定日時	実施予定場所	従事者予定人数	受益対象者の範囲及び予定人数	事業費の予定額（千円）
助成事業	アジアの恵まれない子供たちの医療支援を目的とする団体へ助成を行う。	通年	アンコール小児病院	400 名	1)カンボジア人医療従事者のべ 4,000 名以上 2)不特定多数のカンボジアの子供、教師や地域住民	34,800
医療施設運営・教育・予防事業	「ラオ・フレンズ小児病院（LFHC）」の運営、医療・教育・予防事業を行う。	通年	ラオ・フレンズ小児病院	169 名	1)不特定多数のルアンパバーン地区の子供 2)LFHC スタッフ、他医療施設スタッフ及び患者家族のべ 200 名上	55,000
スタッフ派遣事業	専門家を派遣し、スタッフや住民へ医療・予防教育等を行う。	通年	ラオス、カンボジア	1 名	現地スタッフ約 170 名及び不特定多数の地域住民	900
医療物資等運搬事業	病院のために寄贈された物品や備品等の輸送手配や、運搬を行う。	通年	法人事務所、他	5 名	不特定多数の医療従事者と患者	60
普及啓発事業	WEB サイトやリーフレット、年次報告書の活用、イベント等で広報に努める。	通年	法人事務所、他	10 名	不特定多数の寄付者及び参加希望者	16,106